

# 福井市【効率的な通行量調査及び調査データの有効活用】

## (1) 地域課題分野

[  ] ①交通、 [ ] ②防災、 [ ] ③環境、 [ ] ④健康福祉、 [ ] ⑤産業、 [ ] ⑥農林水産、 [ ] ⑦教育、 [ ] ⑧行政、 [ ] ⑨観光・文化、 [ ] ⑩その他

## (2) 課題

- ・歩行者・自転車通行量調査について、職員の人力による調査のため人員の確保・日程調整が必要である。
- ・調査地点も多く長時間にわたる作業のため、人的負担が大きいことに加えて、調査結果が天候やイベントの有無等に左右されやすい。
- ・調査データは、市内部で情報共有するほか、中心市街地関係者へ提供しているが、他用途に活用されていない。

## (3) 現状

- ・年2回（1回につき平日、休日各1日ずつ）、福井駅周辺の10地点で、8時から20時の間で調査を行っている。
- ・調査データは、市内部での情報共有のほか、エリアマネジメント会議（民間主導の動きを効果的に連携することを目的とした協議）の際に提供している。

## (4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
まちづくり福井株式会社	エリアマネジメント会社
まちなかの事業者	まちなかのにぎわい創出、商業活性化、経済波及効果、福井のPR向上等
福井市役所職員	通行量調査

## (5) 地域課題解決の糸口

- ・まちなかの通行量を、多くの場所で常時取得し、データ分析及び提供を行うことで、官民間わず多用途に利活用が図られるものとしたい。
- ・継続的にデータ取得、分析及び提供を行うことにより、トレンドや社会情勢の変化に即応したい。
- ・多目的でのデータ活用に向けて、通行者数だけでなく通行者の属性等のデータも併せて取得したい。  
(調査データは以下の利活用を想定している。)
  - ・行政：各種事業計画策定の基礎資料、各種施策の効果測定等
  - ・民間：事業改善、新規出店可能性調査等

## (6) 提供可能な資産・データ

過去の通行量調査データ提供（日時、場所、通行量等）